

# オーバースペック等の理由により評価しない 技術提案の事例の公表について (総合評価落札方式)

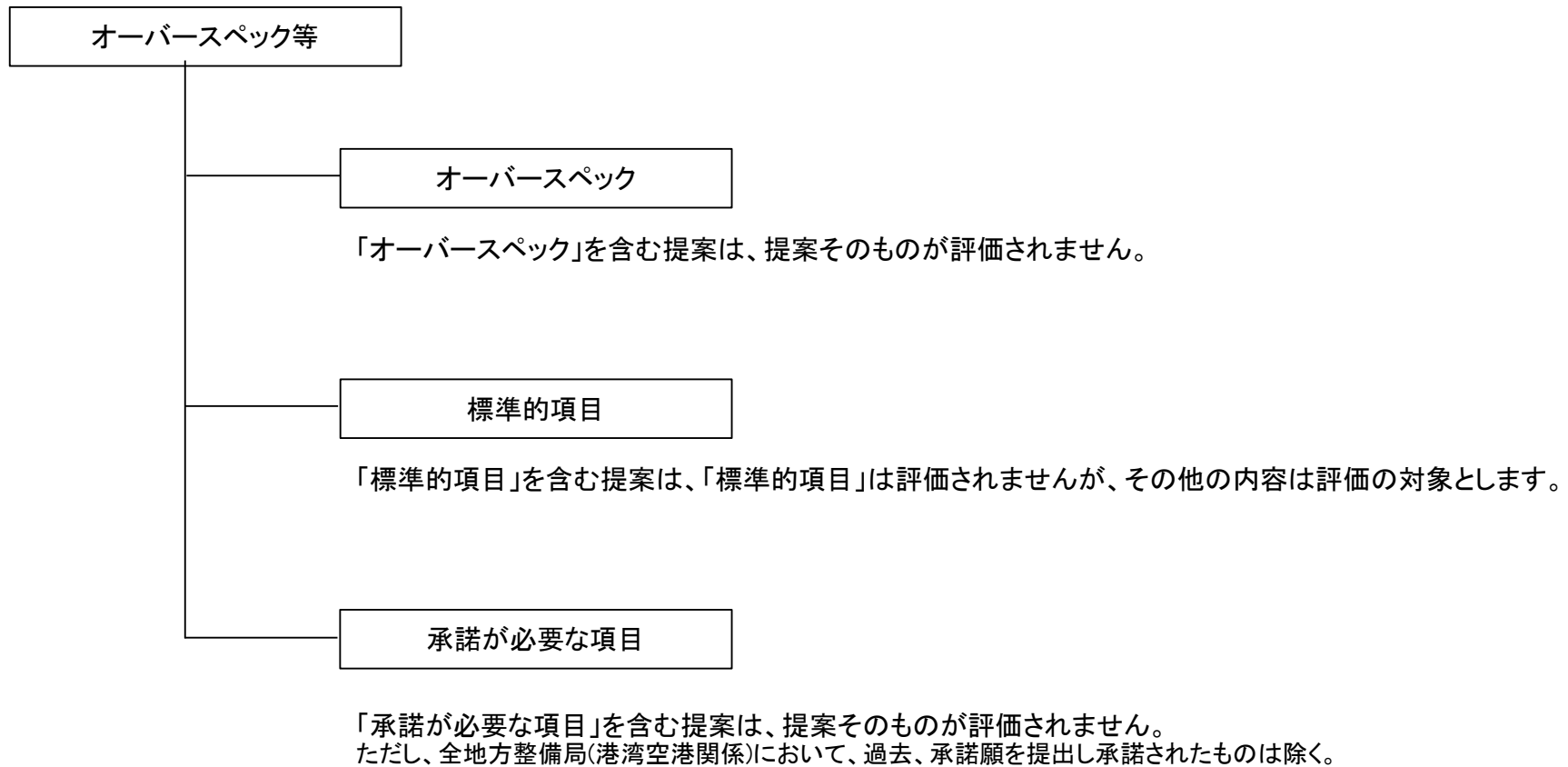
国土交通省近畿地方整備局(港湾空港関係)が発注する総合評価落札方式を適用する工事において、評価しない技術提案の事例を公表します。

なお、本事例に記載がないものでも、オーバースペック等と判定し、評価しない場合があります。

また、個別の工事においても、評価しない項目について、入札説明書等で示している場合がありますので、併せてご確認下さい。

令和6年4月

近畿地方整備局 港湾空港部



【改訂履歴】

改訂日	改訂箇所			改訂内容
	No	工種区分	分類	
令和4年4月1日付	27	安全	オーバースペック	削除
令和5年3月14日付	170	浚渫・床掘	標準的項目	追加
令和6年4月1日付	171	浚渫・床掘	標準的項目	追加
令和6年4月1日付	172	浚渫・床掘	標準的項目	追加

オーバースペック

新No	工種区分	分類	評価しない項目	評価しない具体例等	備考
1	調査・試験	オーバースペック	事前ボーリングの追加、サンプリングを伴う土質試験の追加	サンプリングを伴う土質調査を対象とする	
2	調査・試験	オーバースペック	弾性波探査による空洞調査		
3	調査・試験	オーバースペック	チェックボーリングの追加		
4	調査・試験	オーバースペック	特記仕様書に示す出来形確認のための調査及び試験の追加		
5	管理基準	オーバースペック	騒音・振動観測における自主管理基準の設定及び自主管理基準の厳格化	管理基準値の厳格化のみの提案は、評価しない。騒音・振動観測における自主管理基準値の設定のみの提案については、評価の対象としない。	
6	管理基準	オーバースペック	出来形・品質管理における自主管理基準の設定及び自主管理基準の厳格化	管理基準値の厳格化のみの提案は、評価しない。出来形・品質管理における自主管理基準値の設定のみの提案については、評価の対象としない。	
7	地盤改良	オーバースペック	改良下端部を更に深く改良する		
8	地盤改良	オーバースペック	地中の状況をカメラ等を活用し目視確認する		
9	地盤改良	オーバースペック	SCP杭に対する砂の増量	ダブルリング等で砂が増量される提案	
10	浚渫・床掘	オーバースペック	浚渫船の規格アップ、追加配備及び土運船の追加配備		
11	浚渫・床掘	オーバースペック	グラブバケットの規格に関する提案	規格の大小に関わらず規格に関する提案	
12	浚渫・床掘	オーバースペック	グラブバケットの形状に関する提案	密閉バケットや平バケット等を用いる提案	
13	浚渫・床掘	オーバースペック	グラブバケットに付属物を付ける提案	調整ユニット等による余水の低減	
14	捨石・盛砂	オーバースペック	投入において施工日の全て(毎日)沈下解析等を行い施工計画等にフィードバックする提案		全て(毎日)行うことがオーバースペック
15	コンクリート	オーバースペック	コンクリートの強度アップ		
16	コンクリート	オーバースペック	施工中のコンクリート試験の試験回数の増		
17	鉄筋	オーバースペック	エポキシ樹脂塗装鉄筋の使用		
18	ケーソン据付	オーバースペック	スリットケーソン据付時にスリット部分に蓋を設置	蓋の規格、材質に関わらず蓋の設置はオーバースペック	
19	ケーソン据付	オーバースペック	起重機船の規格アップ、補助船等の追加配備	起重機船の船団に台船を追加配備	
20	海洋汚濁防止	オーバースペック	汚濁防止膜(枠)の拡張・追加設置及び規格アップ		施工の効率化のための汚濁防止膜(枠)の工夫はオーバースペックとしない
21	海洋汚濁防止	オーバースペック	洗浄石の使用、船上で雑石の洗浄		
22	海洋汚濁防止	オーバースペック	汚濁拡散抑制のための凝集剤・沈降剤の使用		
23	海洋汚濁防止	オーバースペック	中温化剤の添加		
24	安全	オーバースペック	作業船や監視船にレーダー反射板設置		
25	安全	オーバースペック	安全監視船の追加配備		
26	安全	オーバースペック	交通整理員、交通誘導員、見張り員の追加配備		
27	安全	オーバースペック	資材運搬船に安全監視機器等を設置(配布を含む)	通信機器やタブレットを含め安全管理に繋がる機器の設置および配布はオーバースペック	

## 標準的項目①

新No	工種区分	分類	評価しない項目	評価しない具体例等	備考
28	浚渫・床掘	標準的項目	土運船の土砂積載制限		
29	浚渫・床掘	標準的項目	GPS施工管理装置(グラブ浚渫船用)の使用(管理ソフトを含む)	作業船位置管理システム(船体位置表示、掘り跡表示)を用いた土砂撤去	
170	浚渫・床掘	標準的項目	土運船の接触位置に関する提案	土運船を浚渫船の前方に接触しブーム旋回角度を低減することにより土砂積込時間を短縮	
171	浚渫・床掘	標準的項目	スイング掘削方式に関する提案	スイング掘削方式による掘削レーン幅の拡幅による浚渫作業の効率化	
172	浚渫・床掘	標準的項目	汚濁防止枠の中間拡幅枠に関する提案	中間拡幅枠による掘進幅の拡幅による浚渫作業の効率化	
30	地盤改良	標準的項目	地盤改良(固化又は注入)時における密度又は水分量の測定		
31	捨石・盛砂	標準的項目	パイによる捨石投入及び均し範囲の管理		
32	コンクリート	標準的項目	JIS A 5308に指定する購入者が指定しない事項に関する技術提案		
33	コンクリート	標準的項目	コンクリートの打設高さの管理方法としてパイプレータや型枠等に目印をつける		
34	コンクリート	標準的項目	コンクリートの打設時間管理		
35	コンクリート	標準的項目	コンクリート打ち重ねの時間の設定(事前試験や施工前・施工中の試験方法に関する提案を含む)	施工前・施工中の試験方法(プロテクター貫入抵抗試験等)に関する提案を含む	
36	コンクリート	標準的項目	コンクリート打設時・養生時における温度測定	温度測定のための提案は評価しない	
37	コンクリート	標準的項目	型枠の脱型強度の設定		
38	コンクリート	標準的項目	型枠剥離剤の塗布により表面の密実性を向上させる提案		
39	コンクリート	標準的項目	型枠脱枠後のセパレーター跡の単純な処理	本体コンクリートと同等以上の品質を有するモルタル等で補修する提案は評価しない	
40	コンクリート	標準的項目	コンクリートの打ち重ね記録ボードの設置		
41	コンクリート	標準的項目	コンクリート工場から現場搬入・荷下りまでのコンクリートの温度対策		
42	コンクリート	標準的項目	コンクリート締固めに用いるすべての内部振動機の機種及び締固め作業(挿入間隔、時間等)に関する提案	全ての内部振動機を対象とする	
43	コンクリート	標準的項目	コンクリート打設時における密度又は水分量の測定		
44	アスファルト舗装	標準的項目	アスファルト混合物(アスファルトモルタル、アスファルトマステックを含む)の配合に関する提案	特記仕様書に明示されたアスファルト混合物のアスファルトの種類、骨材の最大粒径、マーシャル試験に対する基準値の変更に関する提案は評価しない。アスファルトモルタル、アスファルトマステックの配合に関する提案も含む。	
45	アスファルト舗装	標準的項目	屋根付きの舗装材料ストックヤード		
46	アスファルト舗装	標準的項目	アスファルトプラントの使用		
47	アスファルト舗装	標準的項目	アスファルト運搬時にダンプ荷台に付着防止剤を使用、ダンプ荷台をシート養生する		
48	アスファルト舗装	標準的項目	アスファルト舗装工におけるホットジョイント工法による施工		
49	ケーソン据付	標準的項目	ケーソン据付における作業計画の立案、事前測量、既設ケーソンの清掃		
50	ケーソン据付	標準的項目	ケーソンへの中詰材の投入回数・投入量をパソコンで管理		
51	ケーソン据付	標準的項目	ケーソン各室の中詰高さの管理、投入方法、締固めに関する提案		
52	ブロック据付	標準的項目	ブロック据付位置の明示方法、ブロックの据付手順、模型によるシミュレーションの実施		
53	施工管理	標準的項目	施工途中での使用機械、設備のキャリブレーションの実施		
54	施工管理	標準的項目	潮位自動転送システムの使用		
55	施工管理	標準的項目	トランシットによる矢板・杭の打設位置の誘導及び確認		

## 標準的項目②

新No	工種区分	分類	評価しない項目	評価しない具体例等	備考
56	安全	標準的項目	作業中止基準の設定		
57	安全	標準的項目	交通整理員、交通誘導員、見張り員などの人員配置	人員の配置を前提とする提案は評価しない	
58	安全	標準的項目	カラーコーン、ラバーコーン、照明器具等の簡易な安全設備による作業位置等の明示		
59	安全	標準的項目	潜水作業従事者の日常的な健康管理、作業前後及び作業中の体調確認、安全教育の実施		
60	安全	標準的項目	安全教育訓練等の実施、災害時の避難経路の設定及び安全緊急対応体制の策定		
61	安全	標準的項目	赤旗、フイ、灯浮標を使用した作業区域の明示		
62	安全	標準的項目	海上衝突予防法にて示された灯火及び形象物の表示		
63	安全	標準的項目	作業船係留用常設アンカーの設置		
64	安全	標準的項目	他工事船舶への安全対策に関する提案		
65	安全	標準的項目	陸上において型枠を大組し、高所作業を低減する		
66	安全	標準的項目	足場に転落防止用設備(手摺り、ネット、幅木等)の設置		
67	安全	標準的項目	安全巡視員等による安全パトロールの実施		
68	安全	標準的項目	作業船に垂れ幕、横断幕、説明板、案内板、PR看板、電光掲示板を設置		
69	安全	標準的項目	ダイコンピューター等(水深・潜水時間・減圧時間等を表示する機能を備えた機器)の携行による潜水時間管理		
70	安全	標準的項目	潜水作業における減圧時の梯子、椅子等の使用		
71	安全	標準的項目	安全チョッキ・ヘルメット・スコップ・レーキに反射材を取り付ける		
72	安全	標準的項目	AIS情報・レーダー情報・船舶入出港情報等の発信、把握などの一元管理	単に各種船舶の位置情報管理・動静監視のみを目的とした場合は評価しない	
73	安全	標準的項目	作業船に国際VHF無線、簡易AIS、レーダー等の搭載		
74	安全	標準的項目	作業範囲明示のための防護柵等の設置及び拡張		
75	安全	標準的項目	作業船の運行ルートの設定による航行船舶に対する安全対策		
76	安全	標準的項目	作業従事者へ安全教育等の実施、空港制限区域内運行ルート図を作成配布、運行経路KYマップの配布		
77	安全	標準的項目	現場内及び現場周辺における工事車両の設置による安全対策		
78	その他	標準的項目	リーフレット、説明会、HP等による一般船への周知		
79	その他	標準的項目	漁業関係者、海事関係者、地域住民等への工事内容の周知		
80	その他	標準的項目	気象・海象情報の入手		
81	その他	標準的項目	トラブル発生時の対応策を策定		
82	その他	標準的項目	携帯電話による緊急地震情報の入手設定		
83	その他	標準的項目	隣接工場会社との調整会議を実施		
84	その他	標準的項目	作業時間に制約のある工事における1日の作業スケジュールの作成及び退出時間の厳守		
85	その他	標準的項目	陸上工事において夜間工事における故障機械等の退出方法の設定(技術提案で退出遅延防止対策を求めた場合を除く)	技術提案で退出遅延防止対策を求めた場合を除く	
86	その他	標準的項目	トランシーバー・衛星電話の携帯や無線連絡システムを活用した現場連絡体制の確保		
87	その他	標準的項目	モニター画像等の鮮明化	単に解像度をあげる提案は評価しない	

承諾が必要な項目①

新No	工種区分	分類	承諾が必要な項目	承諾が必要な具体例等	備考
88	共通事項	承諾が必要な項目	数量、図面の変更		
89	調査・試験	承諾が必要な項目	現場で行う独自の調査、試験	工事と直接関係しない目的で行うものや、構造物に影響を及ぼす可能性があるもの	工事の品質向上等のための調査・試験・計測は承諾の対象外
90	調査・試験	承諾が必要な項目	GNSSの精度確認		承諾は機器の精度確認のためのものであり、GNSSの使用そのものは承諾の対象外
91	地盤改良	承諾が必要な項目	自動記録装置の性能		
92	地盤改良	承諾が必要な項目	仮設として設計図書に定めのない砕石杭等を設置し撤去を行わない提案		数量、図面の変更に該当するため承諾に該当
93	地盤改良	承諾が必要な項目	SCP、CDMの施工順序、配置及び形状寸法		CDMにおいては接合部のラップ幅も含む
94	地盤改良	承諾が必要な項目	SCP、CDMで支持層まで改良する場合の打ち止め深度確認方法		
95	地盤改良	承諾が必要な項目	SCP、CDMの盛りり量の測定時期および範囲		
96	地盤改良	承諾が必要な項目	CDM、事前混合処理工法での練り混ぜ施設および時間等		
97	地盤改良	承諾が必要な項目	薬液注入工法の現場責任者		
98	浚渫・床掘	承諾が必要な項目	既設構造物前面の施工方法、施工管理基準(設計図書に定めのない場合)		
99	浚渫・床掘	承諾が必要な項目	床掘で出来形の許容範囲を超えて置換材と同等の材料で埋戻を行う場合で、同一工事で置換を行う場合の埋戻と置換の一体施工		
100	捨石・盛砂	承諾が必要な項目	材料		
101	裏込・裏埋	承諾が必要な項目	材料		
102	土工	承諾が必要な項目	材料		
103	型枠・支保	承諾が必要な項目	なし		
104	鉄筋	承諾が必要な項目	特殊なスペーサーの使用		
105	鉄筋	承諾が必要な項目	図面に示されていない鉄筋接手		
106	コンクリート	承諾が必要な項目	コンクリートの配合条件の変更		
107	コンクリート	承諾が必要な項目	特殊な混和剤・混和材の使用	ひび割れ防止剤、高性能減水剤、高性能AE減水剤、防凍・防寒剤等	
108	コンクリート	承諾が必要な項目	コンクリートの養生方法		
109	コンクリート	承諾が必要な項目	コンクリート打継目の位置及び構造の変更		
110	コンクリート	承諾が必要な項目	練り混ぜから打ち終わるまでの標準時間を超える施工		
111	コンクリート	承諾が必要な項目	コンクリート打継目への打継目処理剤使用		
112	コンクリート	承諾が必要な項目	フレッシュコンクリートの品質管理を荷下ろし地点で行わない場合		
113	コンクリート	承諾が必要な項目	温度ひび割れ防止のためパイプクーリング		数量、図面の変更に該当するため承諾に該当
114	コンクリート	承諾が必要な項目	ひび割れ誘発目地の場所変更や追加		
115	コンクリート	承諾が必要な項目	図面で定められない打継目を設ける場合		
116	コンクリート	承諾が必要な項目	打設において設計図書に定められていない補助ヤードを使用する場合		
117	コンクリート	承諾が必要な項目	打設において構造物に作業用の係留環等を設ける場合		
118	コンクリート	承諾が必要な項目	標準的なシュートをを用いない場合		
119	コンクリート	承諾が必要な項目	圧縮強度確認を材令28日強度に よりがたい場合		
120	コンクリート	承諾が必要な項目	少量の打設量で試験頻度を100m <sup>3</sup> /回とする場合		
121	コンクリート	承諾が必要な項目	JIS A 1144によらない全塩化物含有試験方法		
122	コンクリート	承諾が必要な項目	現場練り・コンクリートミキサー船を使用する場合の配合計画書		
123	コンクリート	承諾が必要な項目	現場練りコンクリートでの材料の計量方法および装置		
124	コンクリート	承諾が必要な項目	現場練りコンクリートでJIS A 1111によらない骨材の表面水率の試験方法		
125	コンクリート	承諾が必要な項目	現場練りコンクリートで練混ぜ時間を試験によって定めない場合		
126	コンクリート	承諾が必要な項目	コンクリートミキサー船の選定、コンクリートミキサー船での材料の計量方法および装置		

※上記「承諾が必要な項目」は共通仕様書に記載されているものであり、個別の工事において、特記仕様書で「承諾が必要な項目」を定めている場合がある。

承諾が必要な項目②

新No	工種区分	分類	承諾が必要な項目	承諾が必要な具体例等	備考
127	コンクリート	承諾が必要な項目	水中コンクリートでケーシング、トレミー、コンクリートポンプ車以外での打設		
128	コンクリート	承諾が必要な項目	水中コンクリートで底開き箱、底開き袋を使用する場合		
129	コンクリート	承諾が必要な項目	水中不分離コンクリートで現場で混和剤、減水材を添加する場合		
130	コンクリート	承諾が必要な項目	水中不分離コンクリートで使用する混和剤		
131	コンクリート	承諾が必要な項目	プレバッドコンクリートの現場配合書		
132	コンクリート	承諾が必要な項目	プレバッドコンクリートの型枠の取り外し時期		
133	コンクリート	承諾が必要な項目	プレバッドコンクリートで水平間隔が2mを超える注入管の配置		
134	コンクリート	承諾が必要な項目	プレバッドコンクリートで打ち継ぎ目を設ける場合		
135	コンクリート製品	承諾が必要な項目	全塩化物イオン量0.30kg/m <sup>3</sup> を超えるセメントコンクリート製品の使用		
136	ブロック製作	承諾が必要な項目	転地時期		
137	汚濁防止膜	承諾が必要な項目	材料、構造図		枠は承諾の対象外
138	コンクリート舗装	承諾が必要な項目	手仕上げ、簡易な機械による施工		
139	コンクリート舗装	承諾が必要な項目	機械の故障等で作業を中止し施工目地を設ける場合		
140	コンクリート舗装	承諾が必要な項目	養生終了時期		
141	コンクリート舗装	承諾が必要な項目	横施工目地を設定図書に定めた場所に設けられない場合		
142	アスファルト舗装	承諾が必要な項目	設計配合		
143	アスファルト舗装	承諾が必要な項目	プラントの位置、設備内容および性能		
144	アスファルト舗装	承諾が必要な項目	プライムコート、タックコート、敷均しの施工を日平均気温5℃以下で行う場合		
145	アスファルト舗装	承諾が必要な項目	フィニッシャー以外での敷均し		
146	アスファルト舗装	承諾が必要な項目	ミキサ排出時の混合物の基準温度		
147	アスファルト舗装	承諾が必要な項目	表層の縦継目位置		
148	鋼矢板・鋼杭	承諾が必要な項目	鋼矢板の組合せ矢板等の現場製作		
149	鋼矢板・鋼杭	承諾が必要な項目	打ち止め深度の確認方法		
150	鋼矢板・鋼杭	承諾が必要な項目	異形矢板を用いた修正(修正が必要な場合)		
151	鋼矢板・鋼杭	承諾が必要な項目	引抜きが不可能な場合(設計図書に引抜きの定めがある場合)		
152	鋼矢板・鋼杭	承諾が必要な項目	引抜き後の空洞処理ができない場合		
153	タイワイヤー	承諾が必要な項目	材料		
154	防食	承諾が必要な項目	被覆防食の保護カバーの材質		
155	防食	承諾が必要な項目	陽極の取付個数および配置(設計図書に定めない場合)		
156	防食	承諾が必要な項目	防食塗装で素地調整後、下塗りをはじめるまでの最長時間		
157	係船柱	承諾が必要な項目	材料の厚さの許容範囲のプラス側の範囲を変更する場合		
158	防舷材	承諾が必要な項目	ゴム防舷材の耐久性証明		
159	防舷材	承諾が必要な項目	ゴム防舷材の取付方法		
160	車止・縁金物	承諾が必要な項目	塗装間隔およびシンナー希釈率		
161	ケーソン掘付	承諾が必要な項目	ケーソンの吊枠の材質および吊具の配置、形状寸法		シャックル等の付属物は承諾の対象外
162	撤去	承諾が必要な項目	ケーソン、ブロック撤去に先立ち付着物等の取除き、運搬ができない場合		
163	マット	承諾が必要な項目	アスファルトマットにおいてアスファルト合材の配合報告書		
164	マット	承諾が必要な項目	アスファルトマットで水平吊りができない場合		
165	マット	承諾が必要な項目	標準以外の重ね合せ幅		
166	伐開	承諾が必要な項目	切株等の処理方法		
167	鋼矢板・鋼杭	承諾が必要な項目	杭の継足しを行う場合、継手構造及び溶接方法		
168	鋼杭	承諾が必要な項目	鋼杭にずれ止めを施工する場合の溶接方法		
169	防舷材	承諾が必要な項目	ゴム防舷材・付属品の形状寸法		

※上記「承諾が必要な項目」は共通仕様書に記載されているものであり、個別の工事において、特記仕様書で「承諾が必要な項目」を定めている場合がある。